

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年10月17日～2016年10月23日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年10月25日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼ソフミでの爆発事件(17日)

・17日朝7時頃、ソフミ市内の「国営」テレビ局に隣接した公園内で30歳代後半の男性が持っていた爆発物が爆発し、男性が死亡。報道によれば、死亡した男性はロシア南部クラスノダル地方の出身。夏にアブハジアに滞在した後、再び10月2日にアブハジアに入り、アブハジアの政治家への襲撃を計画していた。爆発物を準備していた際に偶発的に爆発した模様。

▼第40回IPRM会合(19日)

・ガリにて第40回IPRM会合が行なわれた。主な議題は5月にフルチャで起こった射殺事件であった。その他、移動の自由、行政境界線の通過、犯罪事件などについて議論された。

・次回は11月11日に行なわれる予定。

2. 外 政

▼外相のポーランド訪問(19日)

・ジャネリゼ外相はクラクフにてマチュレヴィチ・ポーランド国防相と会談。会談ではポーランド・ジョージア間の密接な友好関係、ジョージアのEU・NATO加盟および主権・領土一体性に対するポーランドの堅固な支持が強調された。「マ」ポーランド国防相は国防・安全保障分野におけるジョージアの改革計画を歓迎した。

・「ジャ」外相と「マ」ポーランド国防相は欧州保守革新グループ会議に参加し、欧州大西洋地域の安全保障に関する作業パネルで演説を行なった。

▼アバシゼ＝カラーシン会談(19日)

・プラハにてアバシゼ対露関係首相特別代表がカラーシン露外務次官と会談した。会談では、ジョージア・露間の貿易・経済、物流、人道分野の関係の深化の見通しについて議論された。双方は両国のビジネスの実務的な交流の発展を促進することで合意した。ロシアからのジョージア映画アーカイブの返還プロセスが近日中に開始されることが評価された。「ア」特別代表はアブハジア・ツヒンヴァリ地域の人権状況、行政境界線付近の状況に関する問題を提起。

・「ア」特別代表は、ジョージアが2011年の「ジョージア政府・ロシア連邦政府間の税関事務および貿易監視メカニズムの原則に関する合意」に規定された作業を完了し、露側の具体的な情報を待っていることを確認。

・「カ」露外務次官は、露はジョージア国民に対する査証

規則の更なる簡素化に向け取り組んでいると述べた。

3. 内 政

▼野党議員自動車爆破事件の容疑者逮捕(17日)

・内務省は、10月4日夜にトビリシ市中心部で起きた野党議員の自動車の爆破事件に関し、火器・爆発物の不法所持の容疑で男性1名を逮捕したと発表。10月7日に内務省が爆破事件との関連を発表した別の男性1名は、殺人未遂の容疑で本人不在のまま起訴された。内務省はその他の容疑者の逮捕に向け捜査を進めている。

▼決選投票の日付の決定(19日)

・中央選挙委員会は10月8日に行なわれた国会選挙の決選投票を10月30日に実施することを正式に決定。

▼首相の発言(20日)

・与党「ジョージアの夢・民主ジョージア」(GDDG)が憲法改正が可能となる4分の3の議席を獲得する可能性があることについて、「GDDGが4分の3の議席を獲得することが国にとって『破滅的』であるという主張は、全く不健全で作為的なものである」「我々は、公約を実現し、経済・社会・民主制度の発展および欧州との統合に受けた重要な改革を推し進めるために4分の3を望んでいるのである」と発言。また、憲法改正について、「現在の憲法はバランスがとれておらず、国民の関与を通じて、真に欧州的で民主的な憲法改正案をまとめるグループが設置されねばならない。しかし、このプロセスは性急に進めてはならない」と述べた。

▼憲法裁判所長官の選出(20日)

・憲法裁判所にて非公開で行なわれた投票により、タヴァゼ憲法裁判所裁判官が同長官に選出された。8名の裁判官のうち5名が「タ」裁判官に投票。同じく立候補していたイメルリシヴィリ裁判官(前国家安全保障会議書記)の支持は3票であった。

・「タ」裁判官は2008年から2010年まで法務次官。2010年3月に最高裁判所により憲法裁判所裁判官に任命され、同年6月15日および2015年6月10日に憲法裁判所副長官に選出された。

▼ジョージア軍トラックの横転事故(21日)

・カヘティ地方ボドベ付近で、37人の兵士が乗っていたジョージア軍のトラックが横転。1名が死亡し、4名が重傷を負った。

▼アチャラ自治共和国最高議会選挙の確定結果(21日)

・アチャラ自治共和国最高選挙委員会が、8日に行なわれた同共和国最高議会選挙の確定結果を発表。比例代表で

足切りラインの5%を越えたのは、ジョージアの夢・民主ジョージア(GDDG)45.13%、統一国民運動(UNM)29.62%、ニノ・ブルジャナゼ＝民主運動(DM)5.89%、愛国者連合(APG)5.7%。比例代表で選出される15議席のうち、GDDGが8議席、UNMが5議席、DMとAPGが1議席ずつを獲得した。6つの小選挙区全てで30日に決選投票が実施される。

▼国会選挙の再投票(22日)

・8日の投票結果が無効とされた第36小選挙区(マルネウリ)と第48小選挙区(ズグディディ)の4つの投票所で再投票が行われた。その結果を受け、中央選挙委員会が両小選挙区の暫定結果を発表。第36小選挙区では第1位が統一国民運動(UNM)の候補者48.11%、第2位がジョージアの夢・民主ジョージア(GDDG)の候補者43.43%。第48小選挙区では第1位がGDDGの候補者48.63%、第2位がUNMの候補者44.8%。両小選挙区で30日に決選投票が行なわれる見通し。

・第48小選挙区で第2位となったルロフスUNM候補(サーカシヴィリ前大統領夫人)は、選挙で不正が行なわれたとして、決選投票への参加を辞退すると述べた。(ただし、選挙規則では決選投票の辞退は認められない。)

4. 経 済

▼2016年1月～9月の貿易統計(19日)

- ・国家統計局が2016年1月～9月の貿易統計を発表。貿易額9,104百万ドル(前年同期比24%増)、輸出額1,512百万ドル(同8%減)、輸入額7,592百万ドル(同34%増)。
- ・貿易相手国の内訳はEU諸国28%、CIS諸国20%。国別では貿易額の多い順にカナダ、トルコ、アイルランド、ロシア、中国、アゼルバイジャン、ドイツ、ウクライナ、アルメニア、イタリア。
- ・日本との貿易高は輸出額1,540.4千ドル、輸入額140,017.7千ドル。